

「あぜ」や「せき」について学ぼう！

—おうちの人といっしょに読みましょう—

平成31年4月 根来小学校

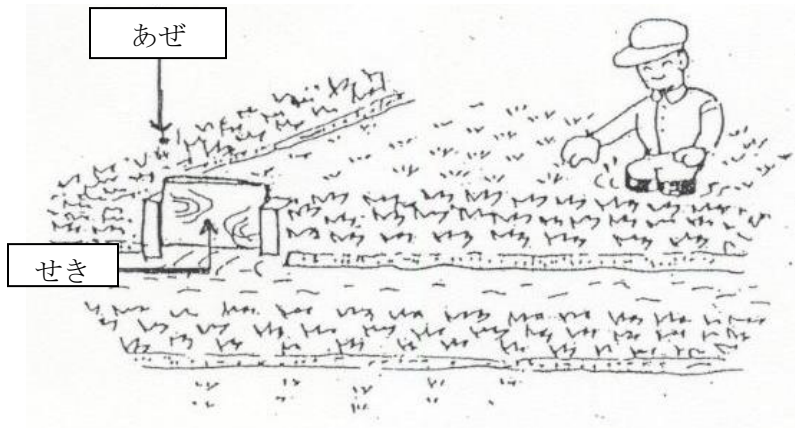
1. 「あぜ」や「せき」について

学校の行き帰りに、田の様子を見て気づいてことはありませんか。

5月になると、田に水を入れて田植えの準備がはじまります。そのために、今農家の人たちは、肥料をまいたり、田おこしやもみまきなどをしたりして、なえを育てています。

おいしいお米は「太陽と水と土」からできています。

田に入れる水は、
農家の人がお金を
出して買っています。
また、田に入った水
には、肥料がとけて
いて、なえが育つ
のによいのです。この
大切な「水」と「土」



を守っているのが「あぜ」です。

また、水を出し入れするための「せき」として小さな板を入れています。この「せき」をはずすと、せっかく入れた大切な水が流れてしまい、農家の人が大変なことになります。

私たちが食べるお米を作っている農家の人にめいわくをかけないように、

絶対に「せき」をさわったり、「あぜ」を歩いたりしないようにしましょう。

2. 田畑の作物を大切に

これからの時期、田畑の作物は芽がどんどん大きくなり、花を咲かせ、実をつけて、成長していきます。そして農家の人たちはとても大切な作物の収穫をします。それで田畑の中に入って、作物をひきぬいたり、ふみあらしたり、石を投げたりすると、農家の人たちは大変悲しい思いをします。

田畑に入ったり、石を投げたり作物をひきぬいたりしないようにしましょう。